

働きながら学ぶ社会人のための通信制大学院

働きながら学ぶ社会人のための通信制大学院として、次の諸制度を設けています。

詳細は学生募集要項をご覧ください。 <https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/divisions/isd/admissions/index.html>



● 社会人入学試験／一般入学試験

入学前に3年以上の就業経験（非常勤職員を含む）がある方には、「社会人入学試験」の出願資格があります。必ずしも4年制大学を卒業されていない場合でも、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた場合は出願資格があります。また、就業経験が3年未満の方は「一般入学試験」での出願となります。

● 長期履修制度

標準修業年限の2年では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、予め計画的に3年間での修学を認める制度です。本制度の適用を申請し、それが認められた場合の学費は、通常の2年間分の学費を3年間で分割納入することができます。

● 修士課程1年修了希望申請

社会人入試を選択された方は、出願時に、本課程を1年間で修了する希望の申請が可能です。

● 博士課程への進学

本学大学院では、さらに「社会開発・開発教育の専門家を育成できる高度研究者・指導的専門家の育成」を目指し、福祉社会開発研究科国際社会開発専攻博士課程（通信教育）も設置しています。本研究科では、修士課程を修了して修士（開発学）の学位を取得された方が、博士課程に進学され、博士（開発学）の学位を目指されることを期待しています。



学習・研究の主な流れ

テキスト科目

インターネットを活用した学習と研究

本研究科では、通学課程のキャンパスに相当する場として、院生専用のWebサイト（development-school.jp）を開設し、インタラクティブ（双方向・対話形式）な学習及び研究指導等を受けることができます。本学独自の履修システムを設けています。

このシステムは各科目の授業が行われる講義室（教室）の集まった、いわば“講義棟”と言えます。

院生は、各自が履修する科目のインターネット上の講義室（教室）へ出席（アクセス）し、発言（投稿）し、担当教員の指導や助言を受け、院生の間で討論・意見交換を行いながら学習・研究を進めます。

「基礎教育科目」「展開科目」は、

テキスト科目と呼ばれています。テキスト科目では、テキスト教材に基づいて知識を深め、院生専用サイト内の掲示板でディスカッションを展開します。テキスト科目（各2単位）は、集中的に学習できるよう前期または後期の半期開講で、単位認定には掲示板での討論への参加の他、期末レポートの提出などが必要とされます。

本学附属図書館の特色

通信での

学びへのサポート

本学の附属図書館は、遠隔地にお住まいの通信院生のために、遠隔利用サービスのほか、データベース・電子ジャーナル等の学外アクセスサービス（リモートアクセスサービス）を設けています。本学が契約するすべてのデータベース・電子ジャーナルが学外（自宅）から利用できることは、本学附属図書館の大きな特色となっています。